

琉球新報 5月31日
辺野古
反対
84%

沖縄の怒りは おさまりません

基地おしつける政権・政党に審判を

日本共産党

沖縄の名護市・辺野古に新基地を結局おしつける、そのうえ全国に基地被害を広げる—こんな「日米合意」は、自公政権時代にもどったうえ、さらに悪い方針。とうてい認められません。

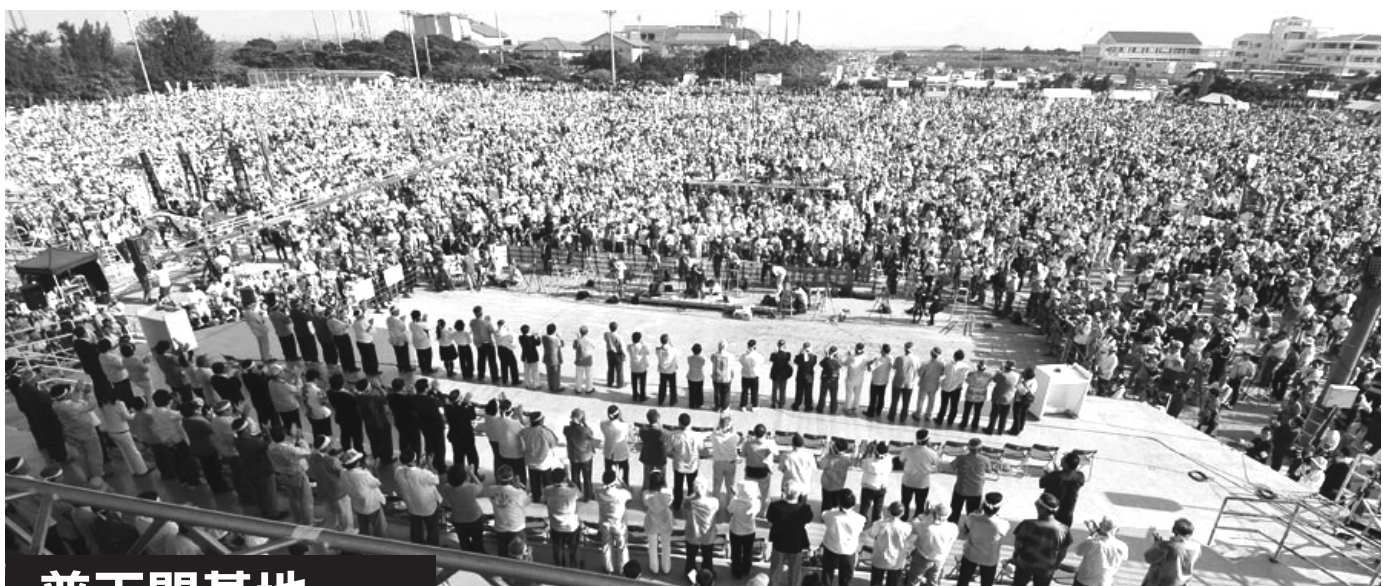
自分の言明なげすて、約束うらぎる政治は許されない

「撤退を米国に求めていく」「抑止力と関係ない」と、過去、首相はしていました。この言明を投げ捨てても恥じないような政治は許されません。

基地おしつけ勢力に厳しい審判をくだしましょう。

海兵隊は侵略力

「沖縄の海兵隊は、日本の防衛にはあてられていない。それは、西太平洋、インド洋のいかなる場所にも配備される」(ワインバーガー米国防長官、1982年)



「県内移設反対」が沖縄の総意。
9万人が集まった沖縄での県民大会(4月25日)

普天間基地

無条件撤去で **本腰の** 対米交渉

日本共産党を伸ばして 政府のまちがただそう

「辺野古に新基地」は、沖縄県民の総意にそむくもの。合意は得られません。解決の道は、日米合意を白紙撤回し、移設条件なしの撤去—無条件撤去をもとめて、アメリカと本腰の交渉をはじめることです。



2010年6・7月号外

発行●日本共産党中央委員会 〒151-8586東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111(大代表)
FAX 03-5474-8358 ホームページ <http://www.jcp.or.jp> メール info@jcp.or.jp
日本共産党の見解を紹介します。あなたのご意見、ご感想をおよせください。

アメリカ政府に 沖縄の声を伝える

この活動を発展させます

日本共産党

日本共産党は、アメリカを訪問し、「基地のない沖縄」「対等・平等・友好の日米関係」を願う、沖縄県民の声、日本国民の声を、直接、アメリカ政府に伝えました。

これからも、国民の利益にたつて、アメリカ政府や議会への働きかけ、意見交換をおおいに発展させます。



アメリカ国務省でメア日本部長（右から2人目）と会談する志位委員長（左から2人目）=5月7日、ワシントン

「沖縄県民に立派すぎることを言う国会議員がずらっといるが、アメリカには何も言いません。私は共産党の訪米が一番いいと思います。アメリカにきちっと、非常に苦い話を率直に語られた。ものすごく意味がある」（沖縄県嘉手納町長・宮城篤実さん）

「アメリカいいなり」
のおおもと
**日米安保
を廃棄**

対等・平等の 日米友好関係を めざす党です

日本共産党は「反米主義」ではありません。アメリカとのほんとうの友情と友好を願っています。この関係は、支配・従属でなく、対等・平等でこそきずくことができます。

そのために、支配・従属のおおもとにある日米安保条約を廃棄し、日米友好条約を結ぶことを目標にしています。

しんぶん 赤旗
日刊●2,900円 日曜版●800円

お申し込みはお近くの党事務所
または党員が下記の住所まで
日本共産党中央委員会
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL.03-3403-6111 (代表)

購読申込書
おなまえ _____ 電話 (_____)
おところ 〒 _____
○をつけてください。 日刊●2,900円 日曜版●800円